

群馬県感染症発生動向調査情報（官庁連絡会議資料 2025年1月号）

※2025年第1週の報告数は、年末年始休暇の影響により参考値です。

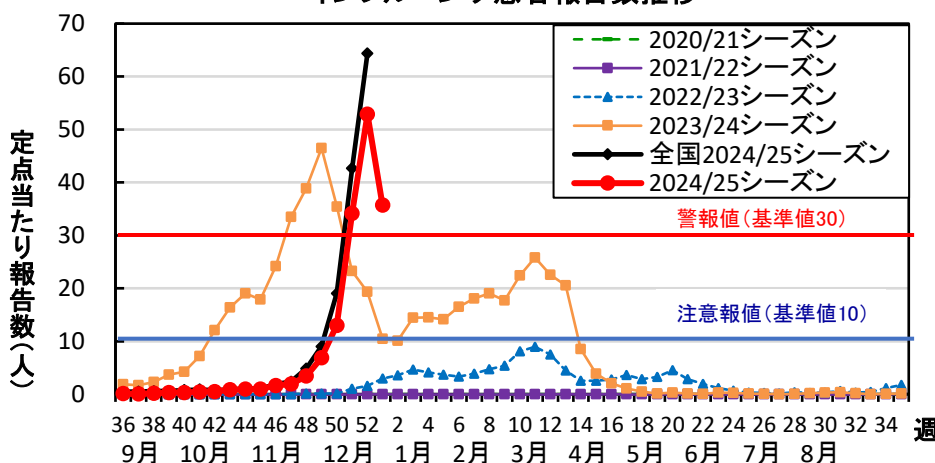
● インフルエンザ（定点報告疾患）

- ◆ 定点からの報告数は、2024年第52週（12月23日～12月29日）では4,441人（定点当たり52.87人）、2025年第1週（12月30日～1月5日）では1,964人（定点当たり35.71人）でした。
- ◆ 定点医療機関の迅速検査結果は、A型が多くを占めています。

インフルエンザ検出状況
2024/25シーズン

型	検出数
AH1pdm09	14
AH3	1
B	0

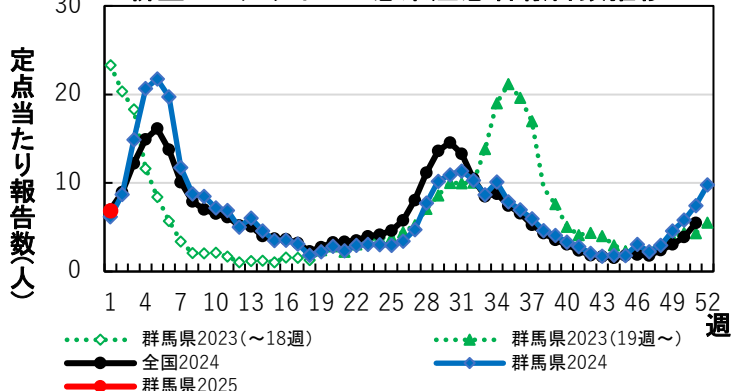
インフルエンザ患者報告数推移



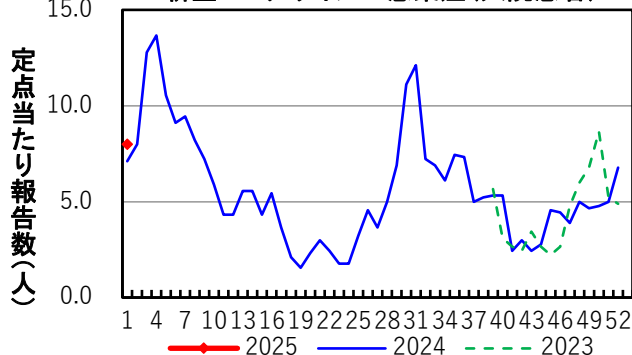
● 新型コロナウイルス感染症（定点報告疾患）

- ◆ 定点からの報告数は、2024年第52週では822人（定点当たり9.79人）、2025年第1週では378人（定点当たり6.87人）でした。
- ◆ 報告が最も多かった年齢群は、第52週では50歳代が155人（18.9%）、第1週では20歳代が64人（16.9%）でした。
- ◆ 基幹定点からの入院患者報告数は、2024年第52週では61人（定点当たり6.78人）、2025年第1週では72人（定点当たり8.00人）でした。

新型コロナウイルス感染症患者報告数推移



新型コロナウイルス感染症(入院患者)



※2023年第1週から第18週までは厚生労働省が発表した
定点医療機関合計報告数と定点当たり報告数
(令和4年10月3日～令和5年5月7日の週次データ) から作図

*この情報に関するお問い合わせ先：群馬県感染制御センター（群馬県衛生環境研究所）

TEL: 027-232-4881

E-mail: kansenseigo-c@pref.gunma.lg.jp

●新型コロナウイルス SARS-CoV-2 ゲノム解析について (Vol.57)

新型コロナウイルスゲノム解析結果(2024年第50週(12月9日～15日)まで)

県内では、オミクロン株が2021年第50週(12月13日～19日)に初めて検出され、2022年第1週(1月3日～9日)以降、BA.1が主な流行となりました。

2022年第2週(1月10日～16日)に渡航歴のある患者からBA.2も検出されましたが、その後の拡大はみられていませんでした。第9週(2月28日～3月6日)以降、BA.2の検出が増加し、主な流行となりました。第25週(6月20日～26日)以降、新たにBA.5が主流となりました。

2023年15週(4月10日から16日)以降は、XBBが目立って検出されるようになり、主流となっていると考えられます。

2024年は、JN.1(BA.2.86系統)や、その子孫株の1つであるKP.3が検出されています。

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に変更となりましたが、引き続き医療機関での検体収集の協力により、ゲノム解析による流行株の把握が重要と思われます。

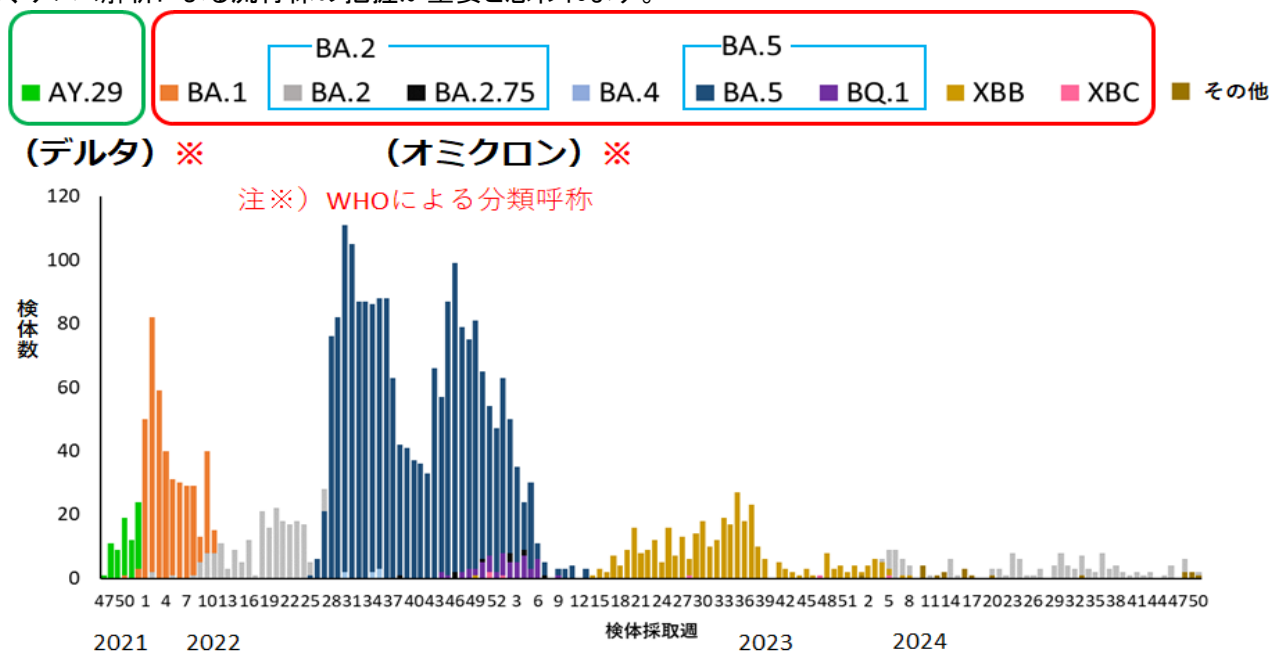


図1 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(検体数)【群馬県衛生環境研究所実施分】

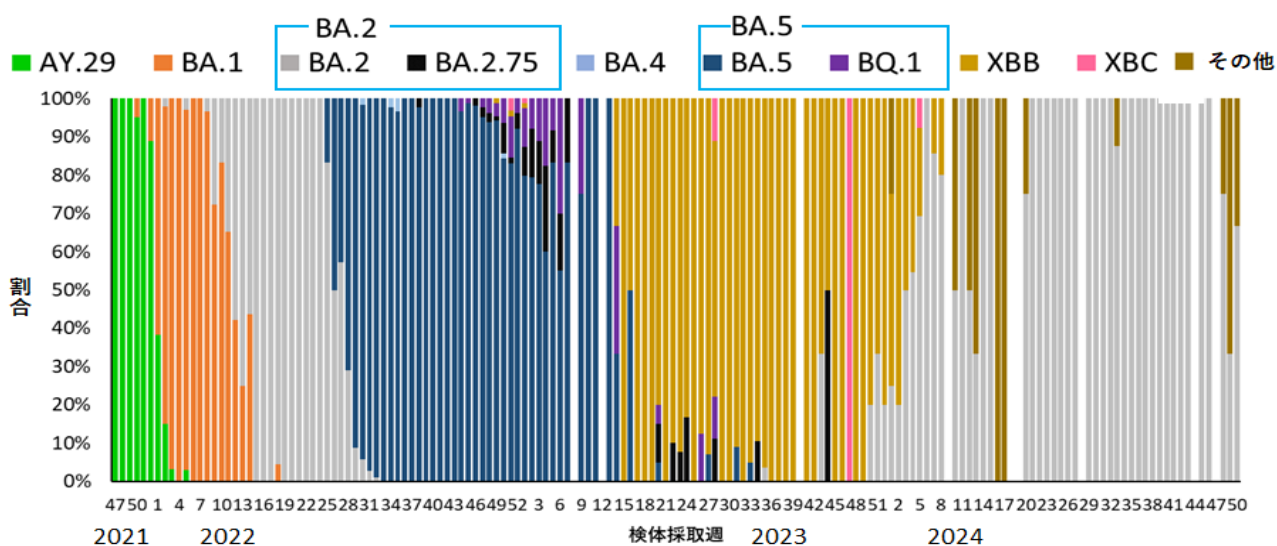


図2 新型コロナウイルス分子系統の時系列解析(割合%)【群馬県衛生環境研究所実施分】